



Shangri-La's Far Eastern Plaza Hotel, Taipei



「Shangri-La's Far Eastern Plaza, Taipei」のコンシェルジュ・デスク。1990年開業のリージェント台北やシャーウッド台北に続いて94年にオープンし、シャングリ・ラ流のきめ細やかなサービスでメディアから高い評価を得ている

トップフロアにあるスイミングプール脇に用意された展望テラス。このホテルの最大の見所は高層階からの眺望であろう。43階建のタワーはホテルとして今でも台北市内随一の高さを誇り、台北のランドマーク「台北101」など市内中心部の大展望が楽しめる



ホテル正面エントランス車寄せ



「Shangri-La's Far Eastern Plaza, Taipei」は敦化南路に面した43階建てツインタワー「遠東モール」に隣接して建ち、円柱と箱を組み合わせたような幾何学的な外観を持つ



館内は宋王朝時代のエレガントなデザインをイメージし、東洋と西洋のテイストを融合させたモダンなインテリア空間が印象的だ



トップフロアにあるオープンエアのスイミングプール。温水のプールとジャグジーは冬季でもクローズせず通年楽しめる

Shangri-La's Far Eastern Plaza, Taipei

シャングリ・ラ ファーイースタンプラザ台北「Shangri-La's Far Eastern Plaza, Taipei」(以下、S.F/台北)の開業は1994年まで遡るが、43階建のタワーはホテルとして今でも台北市内随一の高さを誇る。このホテルの最大の見所は高層階からの眺望であろう。40階にあるスパ施設「Qi 資生堂サロン&スパ」のトリートメントルームからはもちろん、トップフロアにあるオープンエアのスイミングプールからは台北のランドマーク「台北101」など市内中心部の大展望が楽しめる。

S.F/台北は敦化南路に面した43階建てツインタワー「遠東モール」に隣接して建ち、円柱と箱を組み合わせたような幾何学的な外観を持つ。前回紹介したマンダリン オリエンタルなど新規開業が相次ぐ中、台北では老舗となった感があるが、スイートを含め420の客室は2002年に改装され快適である。台湾を代表するリーディングホテルとして1990年に開業したリージェント台北やシャーウッド台北が話題になったが、4年後にオープンしたS.F/台北はシャングリ・ラ流のきめ細やかなサービスでメディアから高い評価を得ている。

S.F/台北の館内は宋王朝時代のエレガントなデザインをイメー



筆者 小原 康裕
国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。
1974年 Munich Re 入社。
2001年投資顧問会社原健設立、
代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント
協会専務理事。
SKAL International Tokyo、
Professionnels du Tourisme 会員。
JARC、日本宿泊施設関連連合会
アドバイザーボードメンバー。

www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
www.hoteresonline.com
https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16



36階にあるクラブラウンジ「豪華閣 Horizon Club」のレセプションデスク



スタイリッシュなイタリア料理のレストラン「マルコポーロ」



東西のフュージョンメニューが楽しめるラウンジ「李白ラウンジ」



メインダイニング「香宮シャンパレス」はシャングリ・ラ定番のチャイニーズで本格的な広東料理を堪能できる



かつて芦屋のミシュラン2ツ星「高木」の料理長高木シェフがプロデュースした和食レストラン「Ibuki」



膨大な朝食メニューを誇るオールデイダイニング「Café at Far Eastern」。レストランの下層部は「遠東モール」と繋がっている

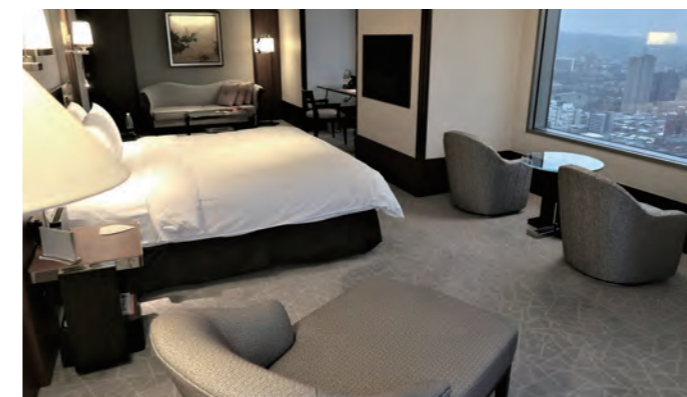
ジシ、東洋と西洋のテイストを融合させたモダンなインテリア空間が印象的だ。今回は 58㎡の広さの「Horizon Premier Room」をご紹介したい。36階にあるクラブラウンジ「豪華閣 Horizon Club」へのアクセスが付いたアップークラスの部屋で、コーナーに位置するため眺望は申し分ない。ホテル内にはバラエティに富んだ飲食施設が多数あり充実している。「香宮シャンパレス」は定番のチャイニーズで本格的な広東料理を堪能できる。かつて芦屋のミシュラン2ツ星「高木」の料理長高木シェフがプロデュースした和食「Ibuki」。その他、スタイリッシュなイタリアン「マルコポーロ」、膨大な朝食メニューを誇る「Café at Far Eastern」

などゲストを飽きさせない。スパ施設「Qi 資生堂サロン&スパ」は スパスイートが6部屋、アロマセラピールームが7部屋あり、ゆったりとした時間を過ごせる癒しの空間だ。
S.F/台北はバンクーバーなど海外のシャングリ・ラと提携し、スタッフの交流を進めている事は好感できる。また、すべての宿泊ゲストへの配慮として、国立故宮博物院などの観光地、台北駅など主要ポイントまでのシャトルバスが用意されている。超高層ホテルゆえに市内全域を見晴らせる眺望で方向感覚が得られ、台北滞在は初めてというゲストにとって無料シャトルを含めお勧めのホテルと言えよう。

Shangri-La's Far Eastern Plaza Hotel, Taipei



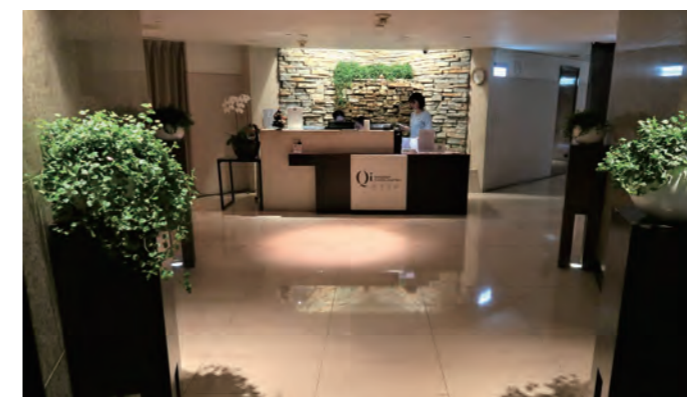
58㎡の広さの「Horizon Premier Room」のベッドルーム。36階にあるクラブラウンジ「豪華閣 Horizon Club」へのアクセスが付いたアップークラスの部屋で、コーナーに位置するため眺望は申し分ない



部屋にはゆっくり眺望を楽しむためのペアシートを設けている



バスルームは総大理石造りのゴージャスな空間。ビューバスタイプなので大きな窓から台北の夜景を堪能できる



40階にあるスパ施設「Qi 資生堂サロン&スパ」のエントランス



資生堂プロデュースのスパで、スパスイートが6部屋、アロマセラピールームが7部屋を持ち、ゆったりとした時間を過ごせる癒しの空間だ